

令和  
6年度

# COMPASS 発達支援センター熊本東

## 事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS 発達支援センター熊本東
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 39名 (回答者数) 39名
○従業者評価実施期間	令和6年10月30日～令和6年10月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名 (回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月30日

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	具体的に細分化された独自のアセスメントシートを使用し、一人ひとりの発達状況に応じた支援計画を作成しています。	アセスメントシートを活用し、個別の目標設定に努めています。	ご家庭との連携を充実させ、支援内容を共有しながら児童の成長を促していきます。
2	専門的な視点を活かし、適切な支援の提供と保護者支援をおこなっています。	年間計画に基づき、支援の質を向上させるために研修を実施しています。	支援の専門性や質を高めるため、外部研修の機会を積極的に活用していきます。
3	利用児童の課題や現状への理解を図るための定期的な支援会議をおこなっている。	課題に対し、各職種の視点から意見を出し合い、共通認識のもと支援に取り組んでいる。	ご家庭や関係機関との連携内容を支援会議に反映し、支援の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少ない状況です。	利用児童の安全面・感染症・個人情報の保護を考慮し、交流の機会を実施できていません。	地域の施設や公共機関と連携し、地域交流の機会が制限されないよう取り組むとともに、保護者様へ地域交流の必要性を伝えていきます。
2	保護者同士の交流の機会が少ない状況です。	地域交流を望むご家庭がある一方で、個人情報保護や過剰な干渉を懸念するご家庭も多く、開催が難しい状況です。	少人数でのグループイベントなどを検討し、参加しやすい環境を整えていきます。
3	個別対応のためのスペース(個室)を十分に確保することが難しい。	施設の構造上、分割化および個室化が難しい状況である。	限られた空間の中で、パーティションなどを活用し、可能な範囲で個別対応を行っていく。